

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

介護現場と記録業務の一体化



～時短・生産性を向上させる工夫～

① 従業員は長時間労働を解消するために良い方法はないものだろうか。

特にどのような作業に時間がかかっているのですか。

② 介護記録の作成や引継ぎ書の作成に時間がかかっているんじゃないかな。パソコンにソフトが入っているんだけど、事務所に戻ってから入力をする必要があるし、うちは職種も多いから、統一的な入力が難しい・・・。

ケアマネ、看護師、栄養士など・・・

③ それでは、クラウドを利用した介護記録システムを導入してみてもどうでしょうか。リアルタイムに記録、閲覧ができるため、申し送り時間の短縮や職種ごとの入力も統一でき、業務効率化になりますよ。

システム導入には助成金も活用できます

そんなことができるのか！

④ クラウド型の介護記録システムを導入し、記録業務を一元化したところ、速やかな申し送りが可能となりました。また、タブレット端末を利用することで介護現場と記録業務を一体化することができ、労働時間削減につながりました。

現場の介護と記録業務の一体化により生産性向上

取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」
「36協定上限引下げ★+設備投資★★=★★★★」に該当

業種：介護業 従業員数：75名

施設には介護記録ソフトが導入されているが、パソコンがある事務所に戻って入力する手間があった。また、ケアマネージャー、介護職員、看護師、栄養士などがそれぞれに別の記録を作成していたため、職員間での記録を共有できる仕組みが必要と感じていた。

＜クラウドを活用した介護記録システムの導入※＞

- 各職員にタブレットを配付し、職員は介護現場にいながら記録作成が可能となった。
- 介護記録システムはチェックリストに入力する形式となっており、誰でも直感的な操作で統一的な入力が可能となった。
- クラウドにより記録のリアルタイム閲覧可能となった。



【システム導入費用を助成！】

- 時間外労働等改善助成金
- ＜時間外労働上限設定コース＞
- 助成率上限 80%
- 助成額上限 200万円

◆助成金等には成果目標の達成状況等、一定の要件があります。

- ・新システム導入により、記録作成業務、引継ぎに要する時間が短縮され、残業時間が削減された。これにより、36協定の上限を引き下げた※。
- ・チェックリスト形式で個々の利用者のケア内容を確認できることから、ケア自体の確認漏れを防ぐようになり、利用者の満足度が向上した。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

詳しくは当センター特設サイトへアクセス ▶

愛知働き方改革推進支援センター

検索



QRコードでもアクセス可能です！

愛知働き方改革推進支援センター【平成31年度厚生労働省・愛知労働局委託事業】

相談窓口：名古屋市中種区千種通7-25-1 サンライズ千種3階（タスクール内）

☎ 0120-552-754

※受付日時：月～金曜日（祝日等を除く）午前9時～午後5時

✉ aichi@task-work.com